

歩道利用者マナーの策定

ランナー、ウォーカー、自転車の各利用者が策定したマナー主旨を尊重して、全歩道利用者共通の「思いやり」をもったマナーを策定する。
皇居周辺利用者の公共意識を促し、マナー向上を図ることで歩道通行の妨げになるような行為がなくなるよう誘導を図る。

皇居周辺歩道利用マナー

標語	内容	趣旨
歩道は歩行者優先	歩行者が優先であることを忘れずに利用しましょう。	歩道では歩行するのが基本です。運動で歩道を利用する際には、観光や散策などで歩いている方に細心の注意を払い、通行の妨げや迷惑をかけたりしないことを念頭において利用しましょう。
歩道をふさがない	グループでは広がらず、歩道をふさがないようにしましょう。	団体やグループで歩道を利用する際に、横並びに広がったり、集団でかたまったりしていると他の利用者の迷惑になります。通行の妨げにならないよう、周囲の利用者に配慮しましょう。
狭いところは一列に	狭いところは一列に。無理な追い越しはやめましょう。	大手門前、千鳥ヶ淵交差点手前、祝田橋交差点などの歩道が狭くなっているところでは、他の利用者の迷惑にならないよう、スピードを落として一列で通行しましょう。また無理な追い越しは接触や衝突などの危険があります。追い越しをする時は、周りの安全を確認して十分間隔をとりましょう。
周回は反時計回り	ランナー・ウォーカーは反時計回りとし、歩行者をよけて通行しましょう。	皇居内濠を周回するときは反時計回りとして、スムーズな通行のために逆走はしないように心がけましょう。また他の利用者と接触しないよう通行することを前提に、歩道の左側に寄って通行し、原則として追い越しは右側から行いましょう。
タイムよりゆとり	ランナーはタイムにこだわらず、ゆとりあるスピードを心がけましょう。	歩道では、他の利用者との接触や衝突などの危険を避けるためにタイムにこだわらず、混雑している時や危険を感じた時に一旦止まるくらいの余裕を持つことが重要です。他の利用者の気持ちを考えてゆとりあるスピードを心がけましょう。
ながら通行は控える	音楽プレイヤーやスマートフォンなどの「ながら通行」は控えましょう。	音楽プレイヤーやスマートフォンなどを使用しながらの通行「ながら通行」は、周辺に注意が及ばないことから、他の利用者との接触や衝突の危険性が高まります。周囲の安全が確認できるように「ながら通行」は控えましょう。
自転車はすぐに止まれるスピードで	自転車は、すぐに止まれるスピードで通行しましょう。	自転車利用者は交通ルールを守り、原則車道を通行しましょう。また、歩道を自転車利用する時は、他の利用者との接触や衝突などないよう、すぐに止まれるスピードで通行しましょう。
ゴミは必ず持ち帰る	ゴミは必ず持ち帰りましょう。	食べ物や飲み物などで出るゴミを捨てると皇居周辺の環境が損なわれ、誰もが不快な思いをします。皇居は首都の顔であり、都心のオアシスでもあります。利用する人みんなが気持ちよく通行でき、また素晴らしい環境をみんなで守るため、自分のゴミは必ず持って帰りましょう。
思いやりの心で	思いやりの心を持ってみんなが気持ちよく利用できるよに行動しましょう。	皇居は日本を代表する観光スポットでもあります。国内外から訪れる人みんなが気持ちよく楽しめるよう、思いやりの心が大切です。多様な立場で多くの人々が利用する皇居周辺では、あいさつするなどのコミュニケーションや他の人に対する思いやりの心を持って行動するよう心がけましょう。

競技会・ランニングイベントの地域ルールの策定

時間的集中の抑制と利用者の安全対策を徹底するため、タイムを競う競技会やランニングイベント（以下「競技会等」という）のスタート・ゴール地点の限定、参加人数の抑制、安全対策の徹底を行う。

皇居を周回する競技会等の地域ルール

- ・土日祝日に開催される皇居を周回する競技会等の集合地点、スタート・ゴール地点は、桜田門前広場（管理者は環境省皇居外苑管理事務所）に限定する。
（桜田門前広場に集合できる人数は、700名（1団体の場合は1,000名）までである。）
- ・観桜期（3/15～4/15）や利用混雑期などで、競技会等の開催を自粛する。
- ・反時計回りの周回を徹底する。
- ・ウェーブスタートを実施する。（1回のスタートは最大100名までとし、スタートの間隔は5分以上空ける。）
- ・交通整理員の配置を徹底する。
- ・狭い箇所での追い越し禁止や、一列通行の徹底を行う。

なお、桜田門前広場以外の公園・広場などについては、各管理者から利用できないことの指導を行い、主催者等に理解を求めていく。

地域ルールを反映した許可条件等

地域ルールを競技会等の主催者や参加者に徹底させるため、広場及び交通各管理者が提示する許可条件等に反映する。

